

今日の説教のポイント<ヨハネによる福音書 21 章 15～19 節>
イエスを三度否んだペトロと、そのペトロを再起復権させようとして下さるイエス様の感動的な対話！ ここから深く聞き取ろう！

①自分の傲慢さ、弱さを見せつけられて人は気づく、主の恵みを！

主はペトロに、「この人たち以上に私を愛しているか」と問われました。ただ「私を愛しているか」と問われたのではなく、「この人たち以上に」と言われて、ペトロはどう思ったのでしょうか？ かつて、「たとえ、みんながあなたにつまずいても、私は決してつまずきません」と豪語したペトロ（マタイ 26:33）。にもかかわらず、「イエスなんて知らない」と三度否んだペトロ。「あなたは自分の弱さを学びましたか。もう他人より自分を上に置こうとしませんか」、そう問われているように思ったことでしょうか。私たちにとって、自分の傲慢さ、弱さを見せつけられることは辛いことです。しかし同時に、それは聖書のイエス・キリストの救いの大事な意味に気づかされる恵みの時でもあるのです！

②多く赦された者が多く愛する！

主はかつて主の足に香油を塗った罪深い女について、「この人が多くの罪を赦されたことは、私に示した愛の大きさと分かる。赦されることの少ない者は愛することも少ない」と言われました（ルカ 7:47）。この時のペトロはまさにこれがあてはまるのではないのでしょうか？ 「はい、主よ、私があなを愛していることは、あなたがご存じです」と答えた時、ペトロには、もう寸分も自分を誇る思いはなく、「こんな自分を赦して下さったお方のために、全てを捧げてお仕えしていこう」、そういう思いだけが満ちていたに違いありません。

③再生した者に求められた生き方、「私の羊を飼いなさい」とは？

主イエスはペトロに三度この問いを繰り返され、そして「私の羊を飼いなさい」と三度命じられたのです。それは、あたかも、主を三度否んだ過ちが赦されることをペトロが確信できるように繰り返して下さったかのようなでした。主イエス・キリストを通して教えられる聖書の神様とは、このようなお方なのです！ 主は、「“私の羊を” 飼いなさい」とペトロに言われました。私たちはみんな神様の羊なのです。ペトロを遣わせて、「私の囲いの中に憩いなさい」と呼びかけて下さっている、神様の大事な羊なのです。今度は私たちが、まだ囲いの外にいる羊にこの恵みを伝えに行く番なのです！